

ネットワークを通じて、世の中に“わっ！！”を提供する



2009年3月期第2四半期決算説明会

株式会社サミーネットワークス

- ✧ 2009年3月期 第2四半期業績
- ✧ 2009年3月期 通期計画
- ✧ 今期の重点課題
(第2四半期実績と下期の施策)

経営方針

“第2の創業期” ～永続的に成長していくために、安定的収益基盤を確立する。



“収益を重視”、“筋肉質の会社”にする。

重点課題

- ① **コア事業を強化する**
～ AMモバイル、AMオンラインの収益性堅持 と AM新規事業の強化
- ② **事業の第3の柱を確立する**
～ 予想ネットモバイルを第3の柱に成長させる。
- ③ **事業の第4、第5の柱の兆しを作る**
～ 新サービスの成功、新規チームの活性化

2009年3月期第2四半期業績一損益計算書(連結)

売上高は、前年同期比3.4%減の5,350百万円であったが、経常利益は前年同期比76.9%増の1,077百万円と減収増益となった。

(単位: 百万円)

	2009年3月期 第2四半期 実績	2008年3月期 第2四半期 実績	前期比 増減率	計画	対計画 比率
売上高	5,350	5,536	△3.4%	5,192	103.1%
売上原価	2,799	2,886	△3.0%	2,745	102.0%
売上総利益	2,550	2,650	△3.8%	2,447	104.2%
販管費	1,498	2,005	△25.3%	1,628	92.1%
営業利益	1,051	645	62.0%	819	128.4%
経常利益	1,077	609	76.9%	804	134.1%
税前利益	1,029	△548	-%	-	-%
当期純利益	1,139	△203	-%	1,020	111.8%

経常利益率 (20.1%) (11.0%) (9.1%) (15.5%)

当期純利益

前年同期比

<売上高(186百万円減少)>

海外事業撤退の影響 196百万円

<経常利益(468百万円増加)>

海外事業撤退による影響 292百万円

計画対比

<経常利益(273百万円増加)>

- ・売上増加による影響。
- ・業務改善による原価、販管費の削減。
- ・新規事業開発投資の下期へのスライド。

子会社を吸収合併したことによる、繰越欠損金の引継 (652百万円)

2009年3月期第2四半期－事業別売上高



AMオンライン事業とAMモバイル事業の売上高が逆転。
前年同期(35:65)⇒当期(50:50)

(単位:百万円)

売上高	AM事業		ポイント メディア事業	モバイル コンテンツ事業	ソリューション 事業	その他/ 連結消去	計
	AMオンライン 事業	AMモバイル 事業					
2009年3月期 第2四半期 実績	1,962	1,927	301	246	925	△11 (海外 0)	5,350
2008年3月期 第2四半期 実績	1,308	2,412	343	381	845	247 (海外 196)	5,536
前期比	50%増	20%減	12%減	35%減	9%増	－	3%減

2009年3月期第2四半期業績一貸借対照表(連結)

現金及び預金5,047百万円。(1,859百万円増)

(単位:百万円)

科目	2008/9	2008/3	増減	主な要因	科目	2008/9	2008/3	増減	主な要因
流動資産	7,627	6,208	1,418	—	流動負債	1,508	1,364	143	—
現金及び預金	5,047	3,188	1,859	法人税の還付 (552百万円) 利益の増加等 (1,307百万円)	買掛金	868	841	26	—
売掛金	2,172	2,035	137		その他	640	523	117	—
その他	407	985	△578	法人税の還付	固定負債	160	86	74	—
固定資産	3,089	3,256	△167	—	純資産の部	9,047	8,014	1,033	—
有形固定資産	141	144	△3	—	資本金	2,330	2,330	0	—
無形固定資産	1,873	2,008	△135	—	資本剰余金	2,974	2,974	0	—
投資その他資産	1,074	1,103	△28	—	利益剰余金	4,483	3,479	1,004	—
資産合計	10,716	9,464	1,251		少数株主持分	12	3	9	—
					その他	△753	△773	20	—
					負債純資産合計	10,716	9,464	1,251	—

営業キャッシュフローは2,216百万円(1,706百万円増加)

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期	2008年3月期 第2四半期	当期の主な項目
営業キャッシュ・フロー	2,216	510	当期利益の増加
投資キャッシュ・フロー	△1,240	△329	定期預金の預入(1,000百万円)
フリーキャッシュ・フロー	976	181	—
財務キャッシュ・フロー	△115	△302	—
現金及び現金同等物期末残高	4,047	3,359	※B/S上の現預金 5,047百万円

サービス会員数および単価の動向

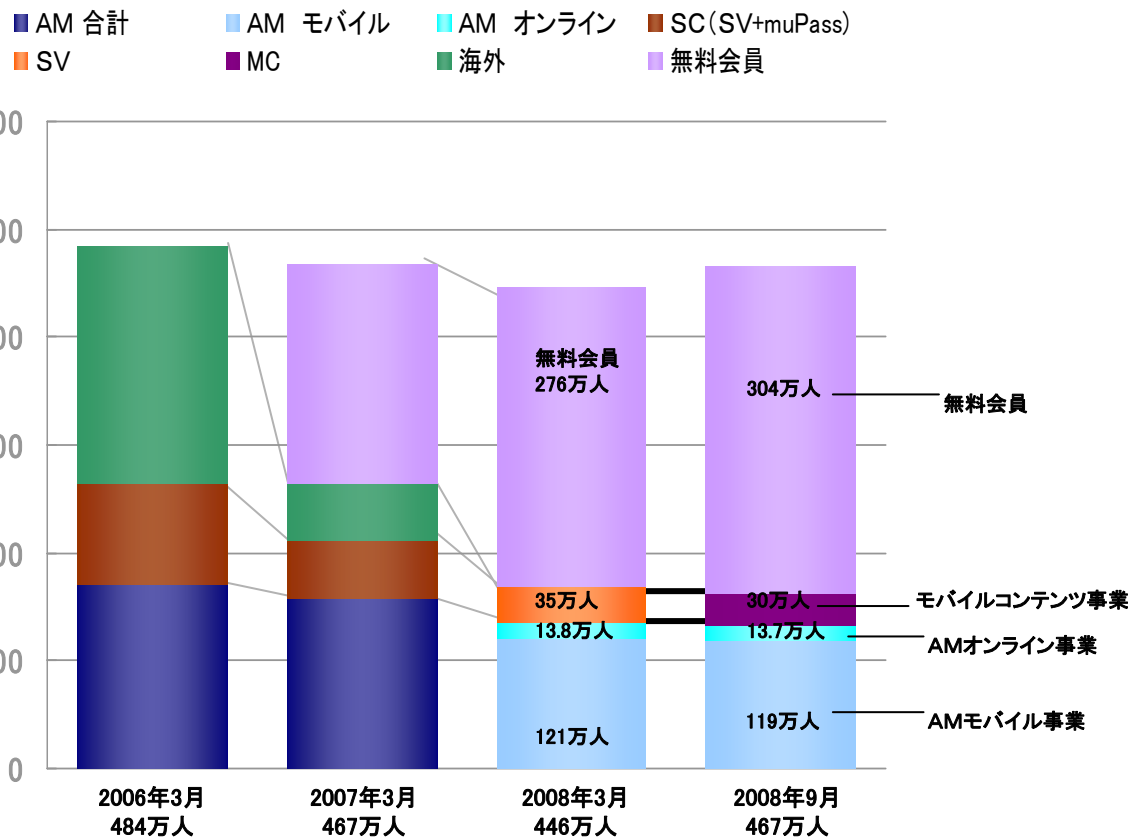
①会員数の2008年3月比は、パチンコ・パチスロ参加人口が減少傾向にある中でも、AMオンライン事業(PC)およびAMモバイル事業ともにほぼ横ばい。

全体の有料会員数は約163万人と2008年3月比で約7万人の減少。無料会員は304万人と28万人の増加。

②平均単価に関しては全体で増加。特にAMオンライン事業は、前上期平均約1,800円⇒当上期平均約2,500円に。

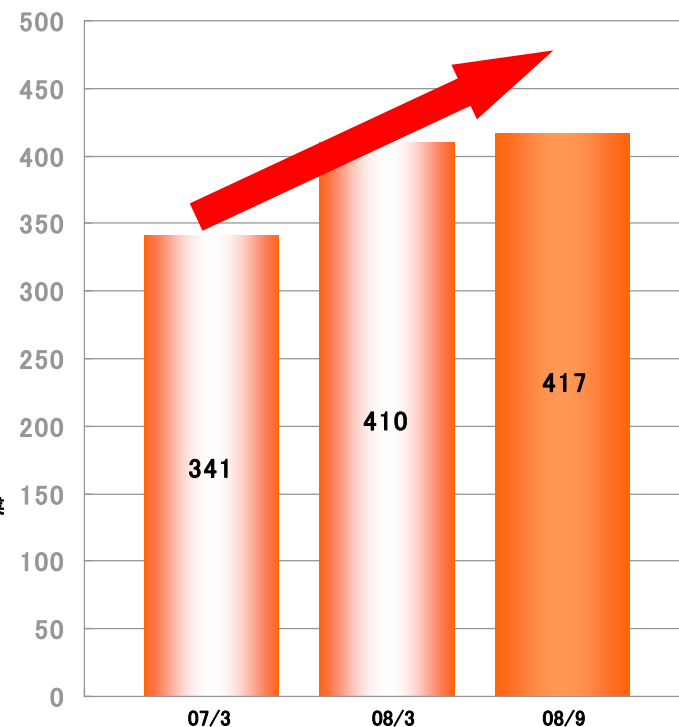
(単位: 万人)

会員数の推移



会員平均単価の推移

(単位: 円)



2009年3月 通期計画

売上高・経常利益・当期純利益ともに、当初計画通り。
下期は、新サービスへの開発投資増を計画。

(単位: 百万円)

	2009年3月期計画	2008年3月期実績	増減額	前期比 増減率
売上高	10,883	11,148	△265	△2.4%
売上原価	5,772	5,889	△117	△2.0%
売上総利益	5,110	5,259	△149	△2.9%
販管費	3,433	3,566	△133	△3.7%
営業利益	1,677	1,693	△16	△1.0%
経常利益	1,647	1,623	23	1.4%
税前利益	1,647	428	1,218	284.6%
当期純利益 (※)	1,406	358	1,047	291.9%

経常利益率

(15.1%)

(14.6%)

(+0.6%)

当初計画通り、安定的収益基盤の確立を目指し、コア事業であるAM事業(AMオンライン、AMモバイル)を更に強化。

(単位:百万円)

売上高	AM事業		ポイント メディア事業	モバイル コンテンツ事業	ソリューション 事業	その他/ 連結消去	計
	AMオンライン 事業	AMモバイル 事業					
2009年 3月期	4,200	3,745	773	526	1,693	△54	10,883
構成比	38.6%	34.4%	7.1%	4.8%	15.6%	－	100%
2008年 3月期	3,028	4,700	730	696	1,716	278	11,148
前期比	38.7%増	20.3%減	5.9%増	24.4%減	1.3%減	－	2.4%減

今期の重点課題 第2四半期実績と下期の施策

(1)コア事業を強化する

①アミューズメントオンライン事業－上期実績

日本でトップクラスのオンラインゲームサイトに成長。売上高は前年同期比50%増。
アイテム・アバターの拡大、麻雀・カジノゲームの追加等で従量課金が上昇。

(単位:百万円)

	2009年3月期 中間実績	2008年3月期 中間実績
売上高	1,962	1,308
有料会員数	13.7万人	12.5万人

無料会員数	100万人	71 万人
企業参画数	21 社	17 社
コンテンツ数	81 機種	54 機種

AMオンライン事業におけるポイント

- 人気パチンコ機「ぱちんこCR北斗の拳」などのゲームアプリを先行配信。上期計12本のアプリを安定供給。
- 麻雀ゲームに続く、新ジャンルとなるカジノゲーム「帝愛カジノ」を7月サービス開始。
- 新アイテム・アバターの投入や各種イベント・キャンペーンの実施。
- 初心者向け機能(専用エリアの設置や説明機能)の追加、掲示板の改修やプロフ検索機能の強化などのコミュニティ機能を充実。



ゲーム画面
(ぱちんこCR北斗の拳)
(C)武論尊・原哲夫/NSP 1983,
(C)NSP 2007 著作権許諾証
GT-706.(C)Sammy



麻雀

イベント中
(全体画面)



ロビー(コミュニティ)



カジノ

(1)コア事業を強化する

①アミューズメントオンライン事業 下期施策

お客様にもっと楽しく遊んでいただくために、新規サービス、アイテムを充実し、通期売上高42億円を目指す。

<活性化策>

- WAT(仮想通貨)の小口化
→現状1,000円単位を500円・300円等へ(裾野を拡大)
- 電子アイテムの新規創出
- 新サービスの導入
→麻雀・カジノに次ぎ、「ゲーセン(ゲームセンター)」サービス開始

<退会防止策>

- コミュニティ機能の強化
- 新規参画メーカーの継続的な開拓

<その他>

- ライトユーザー獲得検討プロジェクトチームを発足
→来期に向けた会員数増加策を検討。
- ギャンポー(ギャンブルポータル)の第一弾として、来期サービス開始を目指し、公営競技の1つと提携。



アイテム、アバターショップ



マイルーム

(1)コア事業を強化する

②アミューズメントモバイル事業

厳しい環境下、有料会員“100万人”を堅持し、通期売上3,745百万円を目指す。

上期実績

(単位:百万円)

	2009年3月期 中間実績	2008年3月期 中間実績
売上高	1,927	2,412
会員数	119万人	152万人

<退会防止策>

■コミュニティ機能の追加

→全面リニューアルを実施し、マイページ機能、掲示板機能およびアバターを追加。

■リッチアプリの強化

→通常中とボーナス中を別々のアプリを立ち上げて実機をより忠実に再現する。

<新規獲得策>

■「ぱちんこCR北斗の拳」の先行配信を含む、アプリゲームの安定供給。(9月末95機種)



ぱちんこCR北斗の拳
(C)武論尊・原哲夫/NSP 1983,
(C)NSP 2007 著作権諸証
GS-406.(C)Sammy

コメント欄

下期施策

<退会防止策>

■コミュニティ機能の追加

→アイテムトレード機能、バトル機能等の追加。

<新規獲得策>

■人気タイトルの先行配信およびゲームアプリを継続的に安定供給する。

■「777タウンットネット(PC)」との連動強化

<活性化策>

■従量課金の本格的開始

→きせかえツール、アバター、着うたフル等の販売



(2)事業の第3の柱を確立する

予想ネットモバイル



新サービスdocomo向け“予想ネットモバイル”が7月スタート、KDDI向け“au one おこづかい”が10月にスタートで明るい兆し。

上期実績

docomo公式初のポイントサイトとして7月にサービスイン

下期施策

KDDIグループとの協業サービスサイト「au one おこづかい」
として10月にサービスを開始。幅広い会員獲得のために3
キャリア対応を目指し、SoftBankでのサービス開始を目指す。

通勤電車・お昼休みにコツコツおこづかい！

ケータイ代を
ケータイで稼ぐ!!

ふやしたポイントで
いろいろもらう！

もらう

- ・ポイントを現金に交換してコンビニで使う!
- ・デジタルコンテンツと交換!サイトで遊ぶ!
- ・カタログギフトを使って自転車Get!

じ.3.人銀行

e イーバンク銀行

amazon.co.jp



GAME ゲームでふやす



GAMEクリア!!
50ポイントGet!



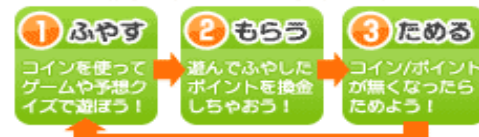
GAMEクリア!!
20ポイントGet!

予想でふやす

日経平均株価を予想!
今日のサッカー日本代表戦は?



ゲームやクイズで遊んでふやせる
おこづかいエンターテインメント



ためたコインで
ゲームやクイズに挑戦!!

ためる

- ・着うたサイトに登録でポイントGET!
- ・交通案内サイトに登録でコインをGET!
- ・通販サイトで本を買ってポイントGET!
- ・旅行の予約でポイントGET!
- ・アンケートに答えてポイントGET!
- ・毎日クリックでコインをGET!

サイトの利用や登録、ショッピングでたまる!!

ショッピングやサイト利用で
ためたポイントを交換

(3)事業の第4、第5の柱の兆しをつくる 新規事業①ー「uchico」

中学生をターゲットに、EDT分野でのトップブランドを確立する。

上期実績

- ①ケータイ初心者へのネチケットを啓蒙する無料サイト「こころ部」6月サービス開始
- ②中学生向け受験無料コミュニティサイト「uchico」8月サービス開始
- ③『合格！メントレ』9月サービス開始

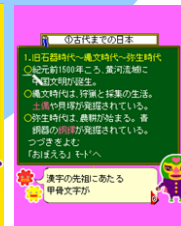
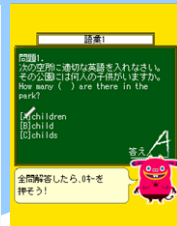
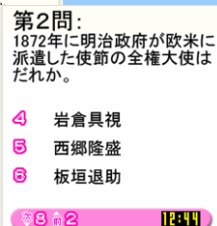
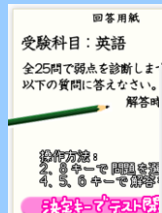
下期施策

「uchico」目標会員数30万人

- ①コミュニティ機能の強化
- ②コンテンツの充実
- ③集客の強化



受験を一緒に頑張る仲間がくれる
コミュニティサイトです★



ケータイで、遊びながら勉強できちゃう★



(3)事業の第4、第5の柱の兆しをつくる 新規事業②ー「ケータイPOST」



ケータイPOSTサービス、3キャリア展開で年賀状100万枚を目指す。

ケータイPOST

ケータイ1つで年賀状(はがき)の作成～投函までを行えるサービス

ケータイPOST 作成～到着までの流れ

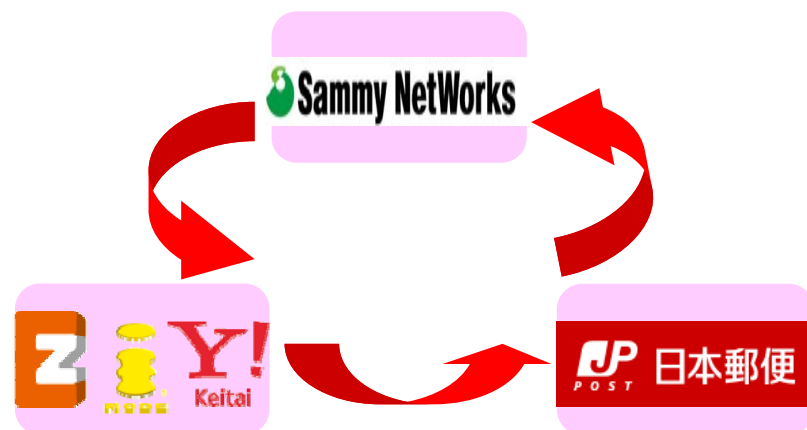


ケータイPOSTのTOPより

ケータイで自由に
ハガキを作り

印刷工場から郵送

受取手へお届け



FIN



ネットワークを通じて「わっ！！」と言わせる
コンテンツ・サービスを創造します

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

メールでのご質問: info@sammy-net.jp